

大蔵中だより

8号(令和5年10月17日)

北九州市立大蔵中学校長 古閑 明子



校訓

自律 自ら考えて判断し、責任をもって行動しよう

創造 自分の力を信じ、新しいものを生み出そう

奉仕 勤労を喜び、社会のために役立つ人になろう

◆第67回体育大会 『熱狂 ～93人の挑戦～』

10月14日(土)、秋晴れの下、体育大会を実施しました。《演技》《係活動》《応援》のそれぞれの場面で、主体性をもって、誠実に行動できる皆さんのことを心から誇りに思います。閉会式では、「熱狂して頑張った達成感」でいっぱい皆さんの表情が印象的でした。



【100m走】【障害物走】【借り物走】の「個人別種目」では、ゴールの瞬間まで、集中して、取り組んでいる姿に、思わず引き込まれました。また、【障害物走】【借り物走】では、〈係の人〉が、準備や後片付け、演技中の道具の移動など、率先して仕事をしていることに感心しました。

「ブロック種目」は、今年度からの種目の【川下り】【二人三脚リレー】【棒引き】でした。安全第一に、練習で何度も変更になったルールを、皆が守って懸命にプレーしていました。3種目とも、各ブロックで試行錯誤した成果が見られ、とても迫力がありました。

【ブロック対抗リレー】では、精一杯の力を振り絞って走る〈選手〉と、全力で応援する生徒席の〈みんな〉が、一体となっており、とても見応えがありました。

全校生徒で創り上げた【大蔵ダンス】は、各学年⇒各ブロック⇒全体の構成で、それぞれの集団で、笑顔で伸び伸びと楽しく表現する姿に、会場全体が温かい雰囲気になりました。〈各学年のダンス委員〉が2学期当初からダンスや移動隊形を考え、学年を超えて教え合った成果を本番で発揮することができました。皆さんが心を一つに演技する姿に感動しました。

そして、全校生徒でバトンをつなぐ【大蔵リレー】では、何度も《バトンを受け取る位置》《渡す位置》《受け渡し方》を確認していたことが功を奏し、どのチームも本番が一番いいパフォーマンスでした。責任感を強くもって、懸命にバトンをつなぐ姿には、心をうたれました。

〈体育委員長・副委員長〉は、毎回の練習時の準備や反省、開会式での熱い思いのこもった選手宣誓など、いつも全体を鼓舞してくれました。

〈各ブロックの団長〉は、いつも先頭に立って、〈メンバー調整〉〈作戦決め〉〈場面に応じた声かけ〉等で「学年を超えた縦割りチーム」を引っ張ってくれました。当日も入場行進前や大蔵リレーの前に、円陣を組んで、チームの気持ちを一つにしていました。

〈3年生〉は、生徒会長の挨拶にもあったように、最上級生の自覚をもって、団長にアイデアを出したり、後輩に声をかけたりする姿が見られました。

〈放送係〉は、何度も練習を重ね、わかりやすく、臨機応変にアナウンスしてくれました。競技や閉会式の進行に重要な役割を果たしてくれました。

〈体育委員〉は、日々の練習の準備等に努め、当日も指揮者やスターター等を務めるなど、大いに活躍してくれました。

～保護者の皆様へ～

お忙しい中、ご参観いただき、誠にありがとうございました。皆様の応援と日頃からのご支援があったからこそ、子ども達は全力を出し切ることができたのだと思います。また、大蔵中学校PTAには、警備等にご協力いただきましたことにお礼申し上げます。さらに、「借り物走」では、会場の皆様にもご協力いただき、感謝いたします。